



第 18 回日 ASEAN 経済大臣会合  
2012 年 8 月 30 日  
カンボジア・シェムリアップ

共同声明（仮訳）

1. 2012 年 8 月 30 日、カンボジア・シェムリアップにおいて、ASEAN 経済大臣と日本国経済産業大臣との第 18 回会合が開催された。本会合ではチャム・プラシットカンボジア商業大臣と日本の枝野幸夫経済産業大臣が共同議長を務めた。
2. 閣僚達は日本と ASEAN の間の貿易総額が 2010 年の 2066 億ドルから 2011 年には 32.3 パーセント増加し 2733 億ドルになるなど継続して上昇傾向にあることを歓迎した。日本は 2010 年には ASEAN の輸出先として 3 位であったが 2011 年には 1 位となった。ASEAN から日本への輸出は 43.3 パーセント増加し 1474 億ドルとなり、ASEAN の日本からの輸入は 21.4 パーセント増加し 1259 億ドルとなった。日本は引き続き ASEAN にとって中国に次いで二番目に大きい貿易相手国である。
3. 閣僚達は、日本から ASEAN への直接投資が、2010 年の 110 億ドルから 39 パーセント増加して 2011 年には 153 億ドルとなったことを留意した。日本は 2011 年の ASEAN への総投資額の 17.1 パーセントのシェアを占める、重要な外国直接投資資源である。日本は、ASEAN の第 3 位の外国直接投資の資金源から第 2 位となった。

**日 ASEAN 包括的経済連携 (AJCEP)**

4. 閣僚達は AJCEP の経済協力及び基準認証の分野における着実な進展を歓迎し、AJCEP の実施により日本と ASEAN の間の貿易・投資を一層増加させる意思を確認した。経済協力の分野において、閣僚達は特に、AJCEP のプロジェクト管理指針が 2011 年 12 月に AJCEP 合同委員会により承認されたことを歓迎した。本指針策定の後、10 のプロジェクト提案が採択され、現在、日・ASEAN 統合基金 (JAIF) の承認プロセスの様々な段階にある。
5. 閣僚達は、日 ASEAN の経済統合をより深めていくため、AJCEP のサービス貿易及び投資章を充実させていくための交渉を継続する重要性を強調し、事務方に対して、AJCEP 合同委員会等の場において残された論点へ対応するための交渉を行うよう促した。

**産業界の関与**

6. 閣僚達は、2012 年 7 月 21 日にタイ・バンコクで開催された FJCCIA と ASEAN 事務総長との対話の結果を歓迎した。閣僚達は、ASEAN のビジネス環境の改

善が ASEAN と日本双方にとって有益であることに合意し、2015 年までの ASEAN 経済共同体実現に向けた取組の中で、FJCCIA からの要望に応えるための可能な方法を検討することを決定した。

7. 閣僚達は、WTO 情報技術協定 (ITA) の対象製品及び加盟国の拡大が世界経済及び地域経済の発展にとって重要であることを強調し、交渉を早急且つ成功裡に終えるため、一層取組を強化していくことを約束した。

#### **日本への ASEAN ロードショー**

8. 閣僚達は、2012 年 4 月 25 日から 28 日に開催され、成功した ASEAN ロードショーを、日 ASEAN 間のビジネス関係及び経済協力関係促進に貢献したとして、高く評価した。

#### **日 ASEAN 戦略的経済協力 10 年ロードマップ**

9. 閣僚達は、日 ASEAN 戦略的経済協力 10 年ロードマップに合意した。本ロードマップは特に、ビジネス環境の改善、貿易・投資の円滑化及び自由化、インフラ開発、連結性、人材育成及び各国の国内政策・規制の調和等の分野で、戦略的パートナーシップの促進を目指すものである。閣僚達は、ロードマップに掲載された活動を実施することで、日 ASEAN のパートナーシップが、更なる市場及び生産ネットワークの統合によって共に成長する新たな段階へと高められ、2022 年までに日 ASEAN の間の貿易及び投資額の倍増といった目標が達成されるという確信を共有した。

10. 閣僚達は、ロードマップで明記された以下の三つの柱に従って、日 ASEAN の関係を拡大し、深化させる重要性についても強調した：

##### **(i) 互恵的な方法による ASEAN 及び東アジア地域の市場統合**

11. 閣僚達は、2012 年 6 月 11 日に開催された日 ASEAN 特許庁長官会合で合意された知的財産に関する協力覚書及びアクションプランを通じて知的財産権保護について協力することに合意した。閣僚達は、AMEICC 化学ワーキンググループによる化学に関する協力の進展、特に、関心のある ASEAN 加盟国と日本によって試験的なデータベースを作ることとする決定を歓迎し、AMEICC 化学ワーキンググループを通して経済統合を進展させるための更なる努力を評価した。

##### **(ii) より高度化された産業構造を目指した産業協力の強化**

12. 閣僚達は、中小企業のための人材のキャパシティビルディングの重要性を再確認し、ASEAN の関心国に対し、アジア高度人材育成ネットワーク (APEN) を通じた「包括的高度専門職教育システム (マルチバーシティー)」の導入及び中小企業のネットワーク促進に関する日本のイニシアティブを歓迎した。

13. 閣僚達は、東アジアスマートコミュニティイニシアティブ (EA-SCI) の進展

を歓迎し、スマートコミュニティプロジェクトの具体化のため、日本と ASEAN が協力を続けることを確認した。閣僚達は、防災管理の目的のみならず、ASEAN 各国がより高度化された産業構造とともに災害に強い社会を構築する目的で、人工衛星技術の活用に関する協力を拡大していくことに合意した。

### **(iii) 経済成長及び生活の質の向上**

14. 閣僚達は、地域の持続的成長にとって低炭素成長の実現が重要であること、及び 2013 年にカンボジアと日本が共同議長を務める第 2 回低炭素成長パートナーシップ対話に向け協力することを認識し、人材育成分野での協力及び制度及び組織の改善の必要性、二国間オフセットクレジットメカニズム／共同クレジットメカニズム (BOCM/JCM) 構築の可能性について再確認した。

### **日 ASEAN 経済産業協力委員会 (AMEICC)**

15. 閣僚達は、AMEICC 作業部会の活動の進捗について了解し、特に企業家教育のための ASEAN 共通カリキュラム開発プログラムの完了について歓迎した。閣僚達は、「日 ASEAN 戦略的経済協力 10 年ロードマップ」に示されたプロジェクトについて、AMEICC が調整を行う必要性についても再確認した。



## 参加関係リスト

1. リム・ジョク・セン第2外務貿易大臣,ブルネイ
2. チャム・プラシット商業大臣,カンボジア
3. ギタ・ウィルヤワン商業大臣,インドネシア
4. 枝野幸男経済産業大臣,日本
5. ナーム・ヴィニャケート商工大臣,ラオス
6. モハマド・リザル・シェリフ国際貿易産業省副次官,マレーシア
7. ティン・ナイン・テイン国家計画経済開発大臣,ミャンマー
8. グレゴリー・ドミンゴ貿易産業長官,フィリピン
9. リム・フンキャン貿易産業大臣,シンガポール
10. ブンソン・テリヤピロム商業大臣,タイ
11. ブー・ファイ・ホアン商工大臣,ベトナム
12. スリン・ピスワン事務総長,ASEAN事務局